

2011 秋季公開講座 報告

【甲状腺の病気と放射線 講師：学長遠藤 啓吾】

開講日時：2011年10月22日（土） 13:30～14:00

近隣の方々を対象に、遠藤学長が甲状腺の病気と放射線について、次のように解りやすくお話させていただきました。

福島原発事故で放出されたヨウ素 131 は、甲状腺に取りこまれます。チェルノブイリ原発事故ではヨウ素 131 を含んだ牛乳を飲んだ子供に、甲状腺がんが増加しました。日本ではこの経験を生かして、早くから食品に含まれる放射性物質が規制され、国民の放射線被ばくが少なく、甲状腺がんの増える可能性は低いと考えられています。

ヨウ素 131 は医療の分野では欠かせないもので、病院では甲状腺の病気の治療に使われています。このような放射性物質をきちんと管理し、安全に使用するのも放射線技師の仕事のひとつとなっています。

今後も地域の皆様と一緒に楽しめるイベントを開催していききたいと考えておりますので、また是非ご参加ください。

学外交流委員会一同

【当日の様子】

